

“パッション”
誰も描けなかった、受難の衝撃。

アカデミー賞監督メル・ギブソンが挑む
イエス・キリスト最後の12時間。

目を背けないでほしい。その瞬間^{とき}がくるまで――。

メル・ギブソン
監督作品

パッション

THE
PASSION
OF THE CHRIST

ジム・カヴィーゼル

ICON PRODUCTIONS PRESENTS AN ICON PRODUCTION A MEL GIBSON FILM "THE PASSION OF THE CHRIST" MONICA BELLUCCI MAMA MORTENSTERN SERGIO RUBINI COSTUME DESIGNER SHARLA RUGHIN EXECUTIVE PRODUCERS JOHN DERNEY GUSTAVO MARINAZZO KARLEWITZ
PRODUCED BY JOHN WRIGHT AND FRANCESCO FRIGERI DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY CALOUD DESCHANEL EDITOR GLENZIN SISTI EXECUTIVE PRODUCERS MEL GIBSON BRUCE DAVEY STEPHEN MCGEEVEY PRODUCED BY BENEDICT FITZGERALD AND MEL GIBSON WRITTEN BY MEL GIBSON



© 2004 Twentieth Century Fox Film Corporation. All Rights Reserved.



www.thepassionofthechrist.com

Read the book by
TYNDALE PUBLISHING

See these events on
SONY PICTURES CLASSICS



配給:日本ヘラルド映画 www.herald.co.jp 18禁

「パッション」とはキリストの「受難」

どうか、目を背けないでほしい。
すべては、その受難の後に始まるもの——。

かつて、これほどまでに世界を騒がせ、注目される
歴史大作があっただろうか？

全米、圧倒的な強さでNo.1を獲得!

「スター・ウォーズ エピソード1/ファントム・メナス」「ロード・オブ・ザ・リング/王の帰還」を抜いて、第1位!

(2月25日 水曜公開 週末までの5日間の興収、約137億円)

アカデミー賞監督メル・ギブソンが挑むイエス・キリスト最後の12時間と、復活。



世界一有名な原作の映画化。2000年を経た現在でも人々の心に生き続けている神の子、イエス・キリスト最後の12時間と復活を、「ブレイブハート」でアカデミーを席巻したメル・ギブソンが12年もの構想歳月を費やして映画化。2500万ドル(約27億円)という私財を投じ、ラテン語とアラム語で脚本を手がけ、アメリカ公開はなんと英語の字幕をつけて上映するという、まさにメル・ギブソンのパッション(情熱)の全てを注いだ渾身の衝撃作。ローマ法王ヨハネ・パウロ2世がこの映画を称賛した、しない発言を皮切りに、反ユダヤ主義を再熟させる危惧から上映反対の声が上がりがちながらも、全米公開館数は当初の予定からものすごい勢いで拡大し、最終的には3043館(4000スクリーン)で2月25日に公開。圧倒的な強さで大ヒットを記録。公開後も、連日「パッション」の話題がない日はないくらいに過熱報道が繰り返されている。あのブッシュ大統領までが「観たい!」と発言したニュースでも分かる通り、近年にないこの盛り上がりはメル・ギブソンの人気、実力におうところが大きいものの、映画のテーマに注目が集まっている結果であろう。

イバラの冠をかぶらされ、重い十字架の横木を背負い、ゴルゴダの丘で両手両足を釘打ちされた十字架刑の事実を、ここまで忠実に映画化したものはない。

「最も語られるべきものが今だ語られていない。凄惨なシーンを描くのも、ある一つの目的のため」とメル・ギブソンは語る。「私の望みは、ユダヤ人を非難することではなく、キリストが我々の罪を償うために味わった恐ろしい苦難を目にし、理解することで、人の心の深いところに影響をあたえ、希望、愛、赦しのメッセージが届けられることだ」。

主役のキリストには、メル・ギブソンに彼以外考えられないと言わしめた名優、ジム・カヴィーゼル。マグダラのマリアには、イタリアの宝石ともいわれるモニカ・ベルッチ。そして「ユリシーズの瞳」で評論家をうならせる演技をみせたマヤ・モルゲンステルンが母マリアに選ばれた。撮影場所は、まさに2000年以上の歴史を誇るイタリアのマテーラを中心に約半年間行われた。「いかにも嘘っぽい歴史大作」ではなく、徹底したリアリティを追及するために世界最高のスタッフが集結した。撮影監督にはキャレブ・デシャネル。画家のカラヴァッジョの絵からインスピレーションを受けて、猛々しく暗いながらも神聖な映像を作り出した。神殿や官邸の中庭などの巨大で完璧なセットは、聖書にもとづいて美術デザインのフランチェスコ・フリジェリとセット担当のカルロ・ジェルヴァーンが手がけた。また、ヨーロッパ各地から集められた100人以上のキャストたちの衣装を手縫いで仕上げたのはオスカー受賞のマウリツィオ・ミレノッティ。

主演のジム・カヴィーゼルは語る。「多くの観客が最後の復活を見る前に、その耐えがたい暴力から席を立ってしまうかもしれない。しかし、同時にたくさんの人たちが最後の最後まで席に留まり、復活の神々しさ、そこから始まる何かを感じとってくれることも信じている」。

パッション

THE PASSION OF THE CHRIST

監督・製作・脚本:メル・ギブソン(「ブレイブハート」アカデミー賞受賞)

主演:イエス・キリスト...ジム・カヴィーゼル/シン・レッド・ライン/マグダラのマリア...モニカ・ベルッチ「マトリックススリローデッド」/母マリア...マヤ・モルゲンステルン「ユリシーズの瞳」/サタン...ロザリнда・チェレンターノ
アイコン プロダクションズ プレゼンツ/2004年/アメリカ/イタリア合作/上映時間:2時間7分
サントラ盤:ソニー・ミュージック/配給:日本ヘラルド映画/宣伝:日本ヘラルド映画 アートハウス・チームXメディアボックス © 2004 by ICON DISTRIBUTION, INC. All Rights Reserved.

5月1日(土)より[真実]のロードショー

前売鑑賞券¥1,500(税込)好評発売中!! (当日一般¥1,800のところ)

池袋駅東口・サンシャイン60階通り

03

池袋シネマサンシャイン (3982) 6101